競技者・チーム関係者　各位

2020年7月19日

公益財団法人全日本空手道連盟

アンチ・ドーピング委員会

ドーピング規則違反に対する通達

　平素より空手道競技の発展にご協力いただき、誠にありがとうございます。2020年6月、空手道競技におけるドーピング違反が発生致しました。禁止物質「ツロブテロール」が検出され、資格停止10カ月が科せられました。今回検出されたツロブテロールは、競技者が罹患している気管支喘息の治療のために医師から処方されたホクナリンテープに起因するものであるとされております。競技者はドーピング違反とならないことを確認した自分専用の薬箱を用意する工夫をしておりましたが、家族による薬品の出入があったとことや、使用時の確認不足といった事情があり違反が発生致しました。

　病院受診する際、医師や薬剤師に「自分はドーピング検査対象のスポーツ競技者である」ということを伝え、ドーピング禁止薬物が含まれていない薬剤の処方をお願してください。また、家族にも「自分がドーピング検査対象である」ということを知らせ、薬剤を共有使用するのは避けるのが望ましいでしょう。なにより、自分の体内に入れるもの（飲む、貼る、塗る等）に責任を持ち、毎回確認をすることが大切です。

　今後、ドーピング規則違反が空手競技から出ることがないよう、今まで以上の注意をよろしくお願い申し上げます。